

市沢小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

善悪を正しく判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切にする態度を育て、自分と同じように人を尊重する態度を育てます。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

体を動かしてよく遊ぶ子どもたちで、人なつこく、進んで手伝いをしたり困っている友達を手助けしたりする。その一方、友達と一緒にになると、規範意識が甘くなってしまうことがある。また、難しいことに粘り強く取り組む姿勢に課題があり、達成した経験が少ないことから自己肯定感も高くない。明るく素直だが、豊かな感性を育む家庭的な環境にない児童も多い。



「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・自主的・実践的な力をつけ、自尊感情の醸成・意志決定力の向上を図るために、体験活動を充実させる。
- ・様々な場面での文化的活動を通して、豊かな感性や情操を育む。



指針 2 体験活動の充実

- なかよし活動を中心とした異学年交流活動を通して、高学年が責任をもって行動できる実践力や主体性、友達への思いやりの心を育てます。
- ・年間計画を作成し、年間の見通しをもって活動する。
- ・全教育活動を通して、異学年との交流ができる活動を積極的に取り入れる。
- 体験的な学習がより充実するよう、地域に協力を呼びかけ、地域の方の知恵や経験を活用します。
- ・各学年での体験活動において、ゲストティーチャーとして支援をお願いする。

指針 4 豊かな感性や情操の育成

- 展示や音楽発表会の実施により校内の文化的環境を充実させます。
- ・昇降口前の掲示板を利用した常設的な展示 ・校内作品展の充実
- ・ミュージック広場の充実
- 読書活動の充実により、感性を磨き、表現力や創造力を高めます。
- ・読書ボランティアや公立図書館との連携をいっそう図る。
- ・朝の読書活動を充実させ、また、本や資料を活用した課題解決学習を推進する。